

6 監 査 第 6 2 号

令和6年8月26日

京丹後市長 中 山 泰 様

京丹後市監査委員 鈴 木 修 一

京丹後市監査委員 多 賀 野 一 彦

令和5年度京丹後市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和5年度京丹後市公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計・病院事業会計）の決算について審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

令和 5 年 度

京丹後市公営企業会計決算審査意見書

京丹後市水道事業会計

京丹後市下水道事業会計

京丹後市病院事業会計

京丹後市監査委員

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
【水道事業会計】		3
1	事業の概況	5
2	予算執行状況（税込）	5
(1)	収益的収入及び支出	5
(2)	資本的収入及び支出	5
3	経営成績（税抜）	6
4	財政状態（税抜）	6
5	むすび	7
	決算審査資料	9
【下水道事業会計】		19
1	事業の概況	21
2	予算執行状況（税込）	21
(1)	収益的収入及び支出	21
(2)	資本的収入及び支出	21
3	経営成績（税抜）	22
4	財政状態（税抜）	23
5	むすび	24
	決算審査資料	25
【病院事業会計】		35
1	事業の概況	37
(1)	入院患者の状況	37
(2)	外来患者の状況	37
(3)	訪問看護事業の状況	38
(4)	通所リハビリテーション事業の状況	38
2	予算執行状況（税込）	38
(1)	収益的収入及び支出	38
(2)	資本的収入及び支出	38
3	経営成績（税抜）	39
4	財政状態（税抜）	40
5	むすび	41
	決算審査資料	43

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和5年度京丹後市水道事業会計決算
令和5年度京丹後市下水道事業会計決算
令和5年度京丹後市病院事業会計決算
上記各会計決算附属書類

2 審査の期間

令和6年7月3日から令和6年8月26日

3 審査の方法

審査に当たっては、市長から提出された各事業会計の決算書及び附属書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、各事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかを確認するため、関係諸帳簿と照合したほか、関係職員から説明を聴取して実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各事業会計決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、これらに記載された計数は正確で、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、おおむね適正に行われているものと認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

なお、文中及び表中の数値は、四捨五入を基本として（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）表示しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

京丹後市水道事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 1 のとおりである。

令和 5 年度末現在の給水人口は、47,332 人で前年度に比べて 935 人減少したが、給水件数は 24,284 件で、前年度に比べて 4 件増加となっている。

前年度に比べて、年間総有収水量は 5,611,537 m³と 70,079 m³減少し、年間総配水量は 6,846,802 m³と 136,550 m³の減少となっている。

有効率は 84.16%で対前年度比 0.60 ポイントの増加、有収率は 81.96%で対前年度比 0.60 ポイントの増加となっている。

給水人口が年々減少していることに加え、社会経済情勢や生活様式の変化に伴う市民の節水意識の向上などによる水需要の変動については、引き続き注視していく必要がある。

管路の状況は、管路総延長 795.49km のうち、石綿管は 4.42km (0.6%) と 1.46km の改善が図られているが、引き続き老朽管の布設替等が必要である。早急かつ効率的に更新を進められたい。

2 予算執行状況（税込）

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、別表 2 のとおりである。

収益的収入である水道事業収益は、予算額 14 億 9,578 万 9 千円に対して決算額 14 億 8,093 万 2 千円で、収入率は 99.0%となっている。これは、消費税及び地方消費税還付金などで一部で予算額を下回ったものの、全体的には、予算額に近い収入となっている。

収益的支出である水道事業費用は、予算額 17 億 2,398 万 3 千円に対して決算額 15 億 6,356 万 2 千円で、執行率は 90.6%である。不用額の主なものは、営業費用で原水及び浄水費 1 億 536 万 3 千円である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、別表 3 のとおりである。

資本的収入は、予算額 21 億 79 万 8 千円に対して決算額 10 億 9,257 万 9 千円で、収入率は 52.0%である。これは、予算額に対して企業債が 6 億 9,980 万円、他会計出資金が 3 億 1,010 万円下回ったことによるものである。

資本的支出は、予算額 26 億 6,467 万 4 千円に対して決算額 15 億 9,118 万 2 千円で、8 億 7,189 万 5 千円を翌年度に繰り越し、執行率は 59.7%となった。主な不用額は、施設改良事業費 1 億 5,606 万円である。翌年度繰越分の内訳は、施設改良事業費 1 億 9,230 万円、中野水系配水池更新整備事業費 6 億 7,959 万 5 千円である。

施設整備については、安全で安心な水道水の安定供給を図るために、中野浄水場更新工事、下水道工事及び道路改良工事に併せた老朽管の布設替工事などが計画的に実施されている。中野浄水場更新工事は、中央監視装置工事や場内整備を終え、平成29年度から7か年にわたる工事を完了し、中野水系配水池更新整備として、新たな配水池築造工事を実施し、中野浄水場から新配水池への送配水管の布設が一部区間で実施された。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4億9,860万2千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,757万9千円、過年度分損益勘定留保資金4億1,102万3千円で補てんしている。

3 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、別表4のとおりである。

総収益13億4,735万9千円に対して総費用は15億2,058万7千円で、差し引き1億7,322万8千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金4億45万2千円を加え、当年度未処理欠損金は5億7,368万円と増加した（別表9参照）。

総収益は、営業収益の給水収益（水道料金）が1,295万4千円、営業外収益の府補助金が558万3千円、長期前受金戻入が102万7千円減少したことなどにより、前年度に比べて1,303万6千円（1.0%）の減少となった。

総費用は、前年度に比べて4,009万1千円（2.7%）の増加となった。営業費用では業務費が806万1千円、配水及び給水費が548万8千円、資産減耗費が219万円増加し、原水及び浄水費が3,298万2千円、総係費が1,994万円、減価償却費が1,552万円減少している。

有収水量1^m3当たりの供給単価は187円41銭で対前年度比0円03銭高くなり、給水原価は226円47銭で対前年度比6円92銭低くなっている。その結果、有収水量1^m3当たりの赤字額は前年度に比べて6円95銭減少し、39円06銭となった。給水人口の減少とともに、電気、動力費また原材料単価の影響が大きいと考えられる（別表1参照）。

また、総収支比率は、別表5のとおり88.6%と14年連続して純損失を生じており、経常収支比率も94.6%で13年連続の単年度赤字となった。

4 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、別表6～9のとおりである。

資産の総額は179億2,163万7千円で、前年度に比べて5億797万7千円（2.9%）増加している。固定資産は、建設仮勘定が19億1,602万9千円減少した一方で、構築物が11億5,480万2千円、建物が5億861万7千円、機械及び装置が4億4,799

万 8 千円増加した。流動資産は、未収金が 1,434 万 6 千円減少した一方で、前払金が 1 億 7,149 万 4 千円、現金預金が 1 億 5,324 万 8 千円増加した。

流動資産である水道料金の未収金の状況は、別表 10 のとおりである。

未収金の総額は 1 億 7,686 万 8 千円で、前年度に比べて 466 万 2 千円、件数は 237 件減少している。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、181 件、123 万 2 千円が不納欠損として処分されている。

負債の総額は 126 億 6,674 万 1 千円で、前年度に比べて 2 億 3,962 万 7 千円増加した。固定負債の減少は、企業債 6,908 万 9 千円減少したことによるものである。また流動負債は、一時借入金が 6,320 万円、引当金が 102 万 9 千円減少したものの、未払金が 2 億 4,607 万円、前受金が 1 億 750 万円、企業債が 9,325 万 9 千円増加した。

資本の総額は 52 億 5,489 万 6 千円で、前年度に比べて 2 億 6,835 万円（5.4%）増加している。資本の増加は、利益剰余金が 1 億 7,322 万 8 千円減少したものの、自己資本金が 4 億 4,157 万 8 千円増加したことによるものである。

企業債の状況は、次のとおりである。

（決算書 P29, P37 参照）

（単位：千円）

令和 4 年度 末残高	令和 5 年度		令和 5 年度 末残高	令和 5 年度 支払利息
	発行額	償還額		
9,006,797	575,600	614,630	8,967,767	116,641

企業債残高は 89 億 6,776 万 7 千円で、前年度に比べ 3,903 万円（0.4%）減少した。企業債利息は 1 億 1,664 万 1 千円で、営業収益（税抜）10 億 7,438 万 3 千円に占める割合は 10.9%と、前年度に比べて 0.1 ポイント減少している。（別表 4 参照）

5 むすび

水道事業会計の経営成績（税抜き）は、事業収益 13 億 4,735 万 9 千円に対して事業費用は 15 億 2,058 万 7 千円、差し引き 1 億 7,322 万 8 千円事業費用が上回り、14 年連続の当年度純損失となった。また、経常収支についても 13 年連続の赤字である。従来からの赤字経営体質に加え、令和元年度に行った簡易水道事業の統合によって多くの施設を抱え、より一層厳しい経営状況となっている。

収益面では、少子高齢化及び人口減少による給水人口の減少、節水型家電製品の普及、節水意識の向上などによって水需要の増加が見込めない状況にあり、収益の安定した確保が懸念される。

費用面では、原材料単価の影響が大きく、老朽管の布設替工事、また、簡易水道事

業の統合により、小規模水道施設が点在するなど、今後も多額の設備投資が必要であり、経営状況はますます厳しいものとなることが予測される。給水原価や有収率などを地区単位で分析することによって、給水人口及び水需要に応じた施設の統廃合や給水エリアの変更が検討され、効率的な事業運営と管理体制が構築されることを期待する。また、災害対策や緊急時の危機管理等の強化といった点にも留意して、不測の事態が生じても将来にわたって水道事業の健全な運営が確保できるよう備える必要があり、維持管理経費等の更なる削減を図るなど一層の努力が望まれる。特に簡易水道事業の統合によって水道施設数は増加しており、持続可能な水道事業の実施に向けた、施設の統廃合等を考えていくことが必要である。

水道料金の未収金については、未収金対策として実施していた給水停止を前年度は新型コロナウイルス感染症の生活への影響を考慮し実施しなかったが、令和5年度は給水停止を実施し未収金解消に努め、令和5年度末の未収金額は1億7,686万8千円となり、令和4年度末の未収金額の1億8,153万1千円に比べ466万3千円減少した。

徴収の見込めない不良債権については、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき処理し、利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点から適正な債権管理は重要である。今後も給水停止等の措置を行うなど、積極的な対応を求めるものである。また、初期的な徴収体制を強化するなど、収納率向上のために口座振替制度の利用拡大等の対策を講ずる必要がある。

水道事業は、市民生活や経済活動に不可欠なものである。近年多発する自然災害などへの危機管理、対応は重要な課題であり、限られた職員数で緊急事態にも迅速に対応できる体制づくりにも取り組む必要がある。このためには、経営基盤の確立や効率的かつ合理的な事業運営に一層努められ、より安全で良質な水道水が安定的に市民に供給されるよう期待するものである。

決算審査資料 （水道事業会計）

別表 1	水道事業の概要	10
別表 2	収益的収支予算決算比較（税込）	11
別表 3	資本的収支予算決算比較（税込）	12
別表 4	損益計算書（税抜）	13
別表 5	経営の安定度に関する指標	14
別表 6	資産	15
別表 7	負債	15
別表 8	資本金	16
別表 9	剰余金	16
別表 10	水道料金未収金及び不納欠損額（税込）	17

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表 1 水道事業の概要

項 目 \ 年 度	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
			増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
給 水 件 数 (件)	24,284	24,280	4	0.0%
給 水 人 口 (人)	47,332	48,267	△ 935	△ 1.9%
配 水 量				
年間総配水量 (m³)	6,846,802	6,983,352	△ 136,550	△ 2.0%
一日最大配水量 (m³)	22,729	24,786	△ 2,057	△ 8.3%
一日最小配水量 (m³)	16,833	17,042	△ 209	△ 1.2%
一日平均配水量 (m³)	18,707	19,132	△ 425	△ 2.2%
有 収 水 量				
年間総有収水量 (m³)	5,611,537	5,681,616	△ 70,079	△ 1.2%
有 効 率 (%)	84.16	83.56	0.60	—
有 収 率 (%)	81.96	81.36	0.60	—
供 給 単 価	187円41銭	187円38銭	0円03銭	—
給 水 原 価	226円47銭	233円39銭	△ 6円92銭	—
資 本 費	108円83銭	110円57銭	△ 1円74銭	—
管 路 総 延 長 (km)	795.49	793.89	1.60	0.2%
石綿管総延長 (km)	4.42	5.88	△ 1.46	△ 24.8%
石綿管布設率 (%)	0.6	0.7	△ 0.1	—

- ・給水人口 定住人口による集計
- ・有 効 率 年間総有効水量/年間総配水量×100
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、一般世帯などで有効に使用された水量（漏水量を除いた水量）の割合を示す指標
- ・有効水量 有収水量＋無収水量（メーター不感知分、消火栓使用分、管洗浄分等）
- ・有 収 率 年間総有収水量/年間総配水量×100
浄水場から送られた水がどれだけ料金徴収の基礎となったかを示す指標。数値が高いほど施設効率が良いことを示し、低い場合は漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる。
- ・供給単価 給水収益/年間総有収水量
有収水量1 m³当たり、どれだけの収益を得ているかを示す指標
- ・給水原価 (経常費用－長期前受金戻入－受託工事費)/年間総有収水量
有収水量1 m³作るために、どれだけの費用がかかっているかを示す指標
- ・資 本 費 (支払利息＋減価償却費－長期前受金戻入)/年間総有収水量

別 表 2 水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

（１）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
水道事業収益	1,495,789	1,480,932	△ 14,857	99.0
営業収益	1,152,281	1,179,546	27,265	102.3
給水収益	1,129,261	1,156,558	27,297	102.4
その他営業収益	23,020	22,988	△ 32	99.8
営業外収益	343,106	300,983	△ 42,123	87.7
受取利息及び配当金	96	10	△ 86	10.4
府補助金	4,433	4,432	△ 1	99.9
他会計補助金	113,093	113,093	0	100.0
長期前受金戻入	155,848	153,414	△ 2,434	98.4
雑収益	1,725	1,766	41	102.3
消費税及び地方消費税還付金	67,911	28,268	△ 39,643	41.6
特別利益	402	403	1	100.2
その他特別利益	402	403	1	100.2

（２）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①－②	執行率 ②／①
水道事業費用	1,723,983	1,563,562	160,421	90.6
営業費用	1,493,672	1,349,939	143,733	90.3
原水及び浄水費	533,600	428,237	105,363	80.2
配水及び給水費	144,007	135,536	8,471	94.1
業務費	85,449	76,761	8,688	89.8
総係費	46,454	41,466	4,988	89.2
減価償却費	649,881	647,475	2,406	99.6
資産減耗費	34,281	20,464	13,817	59.6
営業外費用	123,984	117,297	6,687	94.6
支払利息及び企業債取扱諸費	123,122	116,640	6,482	94.7
雑支出	862	657	205	76.2
特別損失	96,327	96,326	1	99.9
その他特別損失	96,327	96,326	1	99.9
予備費	10,000	0	10,000	0.0
予備費	10,000	0	10,000	0.0

別表3 水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

（1）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
資本の収入	2,100,798	Ⓐ 1,092,579	△ 1,008,219	52.0
加入金	10,520	12,201	1,681	115.9
加入金	10,520	12,201	1,681	115.9
企業債	1,338,600	638,800	△ 699,800	47.7
企業債	1,338,600	638,800	△ 699,800	47.7
出資金	751,678	441,578	△ 310,100	58.7
他会計出資金	751,678	441,578	△ 310,100	58.7

（2）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①－②－③	執行率 ②／①
資本の支出	2,664,674	Ⓑ 1,591,182	871,895	201,597	59.7
建設改良費	2,050,043	976,552	871,895	201,596	47.6
固定資産取得費	54,268	46,823	0	7,445	86.2
施設改良事業費	897,313	548,953	192,300	156,060	61.1
中野浄水場更新整備事業費	182,462	144,376	0	38,086	79.1
中野水系配水池更新整備事業費	916,000	236,400	679,595	5	25.8
企業債償還金	614,631	614,630	0	1	99.9
企業債償還金	614,631	614,630	0	1	99.9

（3）資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

（単位：千円）

項 目	金 額	備 考
資本の収支差引額 ①－②	△ 498,603	
補填財源	498,602	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	87,579	
繰越工事資金	0	
過年度分損益勘定留保資金	411,023	
当年度分損益勘定留保資金	0	
利益剰余金	0	

別表 4 水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年 度 項 目	令和5年度 ①	令和4年度 ②	対 前 年 比	
			金 額③ (①-②)	比率(③/②*100)
水道事業収益 (A)	1,347,359	1,360,395	△ 13,036	△ 1.0
営業収益 (C)	1,074,383	1,087,448	△ 13,065	△ 1.2
給水収益	1,051,639	1,064,593	△ 12,954	△ 1.2
その他営業収益	22,744	22,855	△ 111	△ 0.5
営業外収益	272,573	272,947	△ 374	△ 0.1
受取利息	10	98	△ 88	△ 89.8
府補助金	4,432	10,015	△ 5,583	△ 55.7
他会計補助金	113,093	106,457	6,636	6.2
長期前受金戻入	153,414	154,441	△ 1,027	△ 0.7
雑収益	1,624	1,936	△ 312	△ 16.1
特別利益	403	0	403	—
その他特別利益	403	0	403	—
水道事業費用 (B)	1,520,587	1,480,496	40,091	2.7
営業費用	1,307,000	1,359,703	△ 52,703	△ 3.9
原水及び浄水費	396,028	429,010	△ 32,982	△ 7.7
配水及び給水費	131,231	125,743	5,488	4.4
業務費	71,732	63,671	8,061	12.7
総係費	40,489	60,429	△ 19,940	△ 33.0
減価償却費	647,475	662,995	△ 15,520	△ 2.3
資産減耗費	20,045	17,855	2,190	12.3
営業外費用	117,261	120,793	△ 3,532	△ 2.9
支払利息 (D)	116,641	119,638	△ 2,997	△ 2.5
雑支出	620	1,155	△ 535	△ 46.3
特別損失	96,326	0	96,326	—
その他特別損失	96,326	0	96,326	—
当年度純損益 (A)-(B)	△ 173,228	△ 120,101	△ 53,127	44.2
総収支比率 (A)/(B)	88.6	91.9	△ 3.3	
支払利息/営業収益 (D)/(C)	10.9	11.0	△ 0.1	

別表 5 水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：％)

年 度 項 目		令和5年度	令和4年度	令和3年度	備 考
総収支比率		88.6	91.9	95.3	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。この率が100％未満であれば、純損失を生じている。
	類似団体全国 平均値	—	107.9	107.9	
経常収支比率		94.6	91.9	95.3	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100％を超える場合は単年度黒字を、100％未満は単年度赤字を表す。
	類似団体全国 平均値	—	108.0	108.0	
営業収支比率		82.2	80.0	83.2	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100％未満の場合は健全経営とはいえない。
	類似団体全国 平均値	—	86.8	86.8	

別表 6

水道事業資産

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土 地	540,042	540,042	0	0.0
	建 物	1,015,774	507,157	508,617	100.3
	構 築 物	12,170,555	11,015,753	1,154,802	10.5
	機 械 及 び 装 置	2,265,863	1,817,865	447,998	24.6
	車 両 運 搬 具	2,105	1,503	602	40.1
	工具器具及び備品	34,394	34,327	67	0.2
	建 設 仮 勘 定	262,613	2,178,642	△ 1,916,029	△ 87.9
	小 計	16,291,346	16,095,289	196,057	1.2
流動資産	現 金 預 金	1,211,499	1,058,251	153,248	14.5
	未 収 金	205,877	220,223	△ 14,346	△ 6.5
	貸 倒 引 当 金	△ 32,789	△ 33,689	900	△ 2.7
	貯 蔵 品	10,537	9,913	624	6.3
	前 払 金	235,167	63,673	171,494	269.3
	その他流動資産	0	0	0	—
	小 計	1,630,291	1,318,371	311,920	23.7
合 計		17,921,637	17,413,660	507,977	2.9

別表 7

水道事業負債

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企 業 債	8,259,878	8,328,967	△ 69,089	△ 0.8
	引 当 金	25,444	25,444	0	0.0
	その他固定負債	0	0	0	—
	小 計	8,285,322	8,354,411	△ 69,089	△ 0.8
流動負債	一 時 借 入 金	0	63,200	△ 63,200	△ 100.0
	企 業 債	707,889	614,630	93,259	15.2
	未 払 金	349,891	103,821	246,070	237.0
	前 受 金	107,500	0	107,500	皆増
	引 当 金	12,933	13,962	△ 1,029	△ 7.4
	その他流動負債	3,691	2,699	992	36.8
	小 計	1,181,904	798,312	383,592	48.1
繰延収益	長 期 前 受 金	4,726,078	4,675,405	50,673	1.1
	収益化累計額	△ 1,526,563	△ 1,401,014	△ 125,549	9.0
	小 計	3,199,515	3,274,391	△ 74,876	△ 2.3
合 計 (ア)		12,666,741	12,427,114	239,627	1.9

別表 8 水 道 事 業 資 本 金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自 己 資 本 金	5,331,375	4,889,797	441,578	9.0
借入資本金	企 業 債	—	—	—	—
合 計 (イ)		5,331,375	4,889,797	441,578	9.0

別表 9 水 道 事 業 剰 余 金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資 本 剰 余 金	再 評 価 積 立 金	1,972	1,972	0	0.0
	加 入 金	17,883	17,883	0	0.0
	補 助 金	67,948	67,948	0	0.0
	受 贈 財 産 評 価 額	239,589	239,589	0	0.0
	寄 附 金	3,243	3,243	0	0.0
	工 事 負 担 金	35,638	35,638	0	0.0
	補 償 金	—	—	—	—
	小 計	366,273	366,273	0	0.0
利 益 剰 余 金	減 債 積 立 金	3,600	3,600	0	0.0
	建 設 改 良 積 立 金	127,328	127,328	0	0.0
	当年度未処分利益剰余金	△ 573,680	△ 400,452	△ 173,228	△ 43.3
	(うち当年度純損益)	(△ 173,228)	(△ 120,101)	(△ 53,127)	(△ 44.2)
	小 計	△ 442,752	△ 269,524	△ 173,228	△ 64.3
合 計 (ウ)		-76,479	96,749	△ 173,228	△ 179.0

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	5,254,896	4,986,546	268,350	5.4
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	17,921,637	17,413,660	507,977	2.9

別表 10 水道料金未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	水 道 料 金 未 収 金				不 納 欠 損			
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
令和5年度	26,552	104,499,130			0	0		
令和4年度	1,407	5,208,438	27,014	109,202,782	0	0	0	0
令和3年度	1,572	6,176,120	1,774	7,361,792	0	0	0	0
令和2年度	986	4,040,708	1,050	4,279,147	6	44,652	8	28,210
令和元年度	851	3,510,266	905	3,690,393	6	50,644	5	12,510
平成30年度	781	3,965,308	822	4,170,857	6	49,674	4	16,381
平成29年度	685	2,494,899	722	2,617,042	6	34,648	4	17,857
平成28年度	639	2,524,341	668	2,654,611	11	51,641	2	8,683
平成27年度	641	2,650,521	682	2,820,531	12	61,643	10	39,291
平成26年度	678	2,764,055	710	2,928,046	12	59,743	0	0
平成25年度	724	2,876,474	746	2,975,108	10	49,850	0	0
平成24年度	1,008	3,895,909	1,055	4,086,609	12	71,650	0	0
平成23年度	993	3,576,326	1,062	3,836,425	10	64,040	0	0
平成22年度	1,320	4,741,086	1,415	5,088,972	12	87,080	24	90,350
平成21年度	1,137	4,013,370	1,252	4,413,525	12	84,060	24	87,790
平成20年度	807	2,790,213	893	3,095,055	12	65,510	24	89,050
平成19年度	639	2,600,664	667	2,747,402	12	64,030	2	5,897
平成18年度	601	2,176,041	653	2,370,100	12	70,880	0	0
平成17年度	416	1,736,914	443	1,816,290	3	17,470	0	0
平成16年度	302	1,166,470	334	1,367,765	10	109,210	0	0
平成15年度	430	2,129,203	460	2,344,972	9	82,300	10	44,860
平成14年度	413	1,864,904	431	1,960,554	6	84,050	11	46,115
平成13年度	359	1,321,585	377	1,396,319	2	29,131	0	0
平成12年度	250	986,487	268	1,048,087	0	0	0	0
平成11年度	202	824,799	212	842,329	0	0	0	0
平成10年度	126	548,853	138	616,363	0	0	0	0
平成9年度	148	622,275	151	637,005	0	0	0	0
平成8年度	106	470,655	106	470,655	0	0	0	0
平成7年度	71	365,940	71	365,940	0	0	0	0
平成6年度	55	179,946	55	179,946	0	0	0	0
平成5年度	28	146,300	28	146,300	0	0	0	0
合 計	44,927	176,868,200	45,164	181,530,922	181	1,231,906	128	486,994

京丹後市下水道事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 11 のとおりである。

事業の実績を前年度と比べると、処理区域内人口は 39,570 人で 52 人（0.1%）減少し、水洗化人口は 28,462 人で 70 人（0.2%）増加した。

排水処理水量については、3,317,836 m³で、前年度と比べて 41,331 m³（1.3%）の増加となっている。

新規接続件数の状況は、次のとおりである。

（単位：件）

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
新規接続件数	327	320	343
公共下水道	214	208	210
特定環境保全公共下水道	41	46	52
農業集落排水処理施設	17	15	20
漁業集落排水処理施設	1	0	0
浄化槽整備	54	51	61

新規接続件数は 327 件で、前年度と比較して 7 件の増加であった。排水処理水量については、水洗化人口の増加と合わせて、前年度に比べ微増となった。

2 予算執行状況（税込）

（1）収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、別表 12 のとおりである。

収益的収入である下水道事業収益は、予算額 23 億 4,886 万 9 千円に対して決算額 23 億 5,047 万 1 千円で、収入率は 100.0%となっている。

収益的支出である下水道事業費用は、予算額 27 億 15 万円に対して決算額 25 億 7,297 万 5 千円で、執行率は 95.2%である。不用額の主なものは、営業費用で処理場費 3,804 万 8 千円、浄化槽費 2,022 万 4 千円、管渠費 2,059 万 5 千円など、営業外費用では支払利息及び企業債取扱諸費 751 万 2 千円である。

（2）資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、別表 13 のとおりである。

資本的収入は、予算額 33 億 1,615 万 9 千円に対して決算額 21 億 3,144 万 9 千円で、収入率は 64.2%である。主な要因は、予算額に対して企業債が 9 億 1,390 万円、

補助金が2億6,170万円下回ったことなどによるものである。

資本的支出は、予算額47億2,765万2千円に対して決算額27億6,119万8千円で、8億7,496万円を翌年度に繰り越し、執行率は58.4%となった。主な不用額は、管渠整備事業費8億8,721万9千円、処理場改良事業費1億2,775万4千円、管渠改良事業費3,640万4千円などである。翌年度繰越分の内訳は、管渠整備事業費、管渠改良事業費、処理場改良事業費である。

施設整備の状況については、快適な生活環境及び公共用水域の水質を保全するため、管渠及び浄化槽の整備事業を行い、また、下水道施設の長寿命化のための改良事業などが計画的に実施されている。引き続き早期の概成を目指して、的確な財務分析による計画的かつ効率的な事業推進を期待するものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6億2,974万9千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額6,790万1千円、引継金572万9千円、過年度分損益勘定留保資金5億3,179万3千円、当年度分損益勘定留保資金2,432万6千円で補てんしている。

3 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、別表14のとおりである。

総収益22億1,567万5千円に対して総費用は25億915万2千円で、差し引き2億9,347万7千円の純損失となっており、当年度末処理欠損金は31億9,040万3千円となった（別表19参照）。

総収益の主なものは、営業収益の下水道使用料が5億2,350万2千円、営業外収益の他会計補助金が9億580万円、長期前受金戻入が7億1,180万2千円であった。

総費用の主なものは、営業費用の処理場費が3億8,728万2千円、浄化槽費が1億4,604万8千円、減価償却費が12億9,756万円、営業外費用では企業債支払利息が3億473万9千円であった。今後もインフラの整備が進み、多額の設備整備に伴う施設の管理費用などが必要になる。

有収水量1^m3当たりの使用料単価は146円50銭で対前年度比0円50銭、処理原価は255円90銭で対前年度比12円とどちらも増加した。その結果、有収水量1^m3当たりの赤字額は109円40銭となった（別表11参照）。

また、総収支比率は、別表15のとおり88.3%、経常収支比率は89.2%となった。

4 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、別表 16～19 のとおりである。

資産の総額は 405 億 8,775 万 6 千円で、前年度に比べて 4 億 1,802 万円（1.0%）の減少である。固定資産は前年度に比べて 3 億 3,175 万 8 千円の減少で、その内訳は構築物が 2 億 9,484 万 6 千円、建物が 2,298 万 3 千円、機械及び装置が 1,397 万 1 千円の減少などである。流動資産は前年度に比べて 8,626 万 2 千円の減少で、その内訳は、前払金が 4,264 万 1 千円増加したものの、現金預金が 1 億 2,662 万 1 千円、貸倒引当金が 135 万 1 千円の減少などとなっている。

下水道使用料及び受益者分担金の未収金の状況は、別表 20、別表 21 のとおりである。下水道使用料の未収金総額は 16,393 件、6,417 万 4 千円で、前年度と比べて件数は 821 件、金額は 277 万 3 千円増加した。受益者分担金については 101 件、524 万 4 千円で、前年度に比べて件数は 1 件減少しているが、金額は 151 万 9 千円増加している。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、下水道使用料は 88 件、22 万 5 千円、受益者分担金については 14 件、30 万 5 千円の不納欠損を処理した。

負債の総額は 405 億 9,970 万 9 千円で、前年度に比べて 6 億 374 万 2 千円（1.5%）の減少である。固定負債は前年度に比べて 2 億 3,198 万 6 千円の減少であり、その内訳は企業債のみである。流動負債は前年度に比べて 259 万 6 千円の減少であり、その内訳は、前受金が 3,568 万 1 千円、企業債が 3,233 万 2 千円、未払金が 2,404 万 2 千円などで増加した一方、減少は一時借入金で 9,800 万円となっている。

資本の総額はマイナス 1,195 万 3 千円で、自己資本金が 22 億 2,539 万 3 千円に対し、資本剰余金は 9 億 5,305 万 7 千円、利益剰余金は 31 億 9,040 万 3 千円の赤字決算である。

企業債の状況は、次のとおりである。

（決算書 P34, P41 参照）

（単位：千円）

令和 4 年度 末残高	令和 5 年度		令和 5 年度 末残高	令和 5 年度 支払利息
	発行額	償還額		
23,525,551	1,252,800	1,550,454	23,227,897	304,729

企業債残高は 232 億 2,789 万 7 千円で、前年度に比べ 2 億 9,765 万 4 千円（1.3%）の減少となっている。企業債利息は 3 億 472 万 9 千円で、営業収益（税抜）5 億 2,417 万 6 千円に占める割合は 58.1%と、昨年度に比べて 2.7 ポイント減少したが、非常に大きな割合となっている。

5 むすび

下水道事業会計の経営成績（税抜き）は、事業収益 22 億 1,567 万 5 千円に対して事業費用は 25 億 915 万 2 千円、差し引き 2 億 9,347 万 7 千円の当年度純損失となった。下水道事業は現在もインフラの整備中であり、基本となる収益の下水道使用料のみでは費用が賄えない状況である。

収益面では、普及率や接続率が微増の状況であり、営業収益総額も前年度の 1.2% 増となっているが、普及活動の促進を図りながら、今後も下水道使用料の安定した確保を目指し、新規接続の推進を図ることが求められる。

費用面では、処理区域の拡大に伴う管渠等の整備工事や処理場の改修工事など、今後も多額の設備投資が必要であり、経営状況はますます厳しいものとなることが予測される。また、効率的な汚水処理のため、施設の統廃合等が検討され、効率的な事業運営と管理体制が構築されることを期待する。

令和 5 年度末の未収金は、下水道使用料については 6,417 万 4 千円、受益者分担金については 524 万 4 千円であった。未収金対策として、水道料金と同時に督促状、催告書の発送や分納などを実施した。また、徴収の見込めない不良債権について京丹後市債権の管理に関する条例に基づき不納欠損を処理するなど、滞納整理をされている。利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも適正な債権の管理は極めて重要であり、今後も引き続き滞納者に対する継続的な働きかけや給水停止等の措置を行うなど、回収に向けた積極的な対応を求めるものである。また、新たな未納者の発生を防ぐため初期の徴収体制を強化するなど、収納率向上のための対策を講じることが必要である。

下水道事業は、快適な市民生活環境や公共用水域の水質保全に不可欠なものである。早期の概成を目指し、経営基盤の確立や効率的かつ合理的な事業運営に一層努められるよう期待するものである。

決算審査資料（下水道事業会計）

別表11	下水道事業の概要	26
別表12	収益的収支予算決算比較（税込）	27
別表13	資本的収支予算決算比較（税込）	28
別表14	損益計算書（税抜）	29
別表15	経営の安定度に関する指標	30
別表16	資産	31
別表17	負債	31
別表18	資本金	32
別表19	剰余金	32
別表20	下水道使用料未収金及び不納欠損額（税込）	33
別表21	受益者分担金未収金及び不納欠損額（税込）	33

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表11 下水道事業の概要

項目 \ 年度	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
			増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
行政区域内人口 (人)	50,569	51,537	△ 968	△ 1.9%
処理区域内人口 (人)	39,570	39,622	△ 52	△ 0.1%
普及率 (%)	78.2%	76.9%	1.4%	—
水洗化人口 (人)	28,462	28,392	70	0.2%
接続率 (%)	71.9%	71.7%	0.3%	—
排水処理水量 (m³)	3,317,836	3,276,505	41,331	1.3%
使用料単価	146円50銭	146円00銭	0円50銭	—
処理原価	255円90銭	243円90銭	12円00銭	—
施設利用率 (%)	39.8	39.7	0.1	—
有収率 (%)	107.1	108.2	△ 1.1%	—

- 行政区域内人口 年度末現在における住民基本台帳に登録された人口
- 処理区域内人口 下水道が整備され処理可能な区域の人口（個人等管理浄化槽人口を除く）
- 普及率 $\text{処理区域内人口} / \text{行政区域内人口} \times 100$
行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合を表す指標
- 水洗化人口 下水道処理区域内において下水道に接続し、使用している人口
（個人等管理浄化槽人口を除く）
- 接続率 $\text{水洗化人口} / \text{処理区域内人口} \times 100$
- 使用料単価 $\text{下水道使用料} / \text{年間総有収水量}$
有収水量1m³あたり、どれだけの収益を得ているかを表す指標
- 処理原価 $\text{経常費用} / \text{年間総有収水量}$
有収水量1m³あたり、汚水処理にどれだけの費用がかかっているかを表す指標
- 施設利用率 $\text{晴天時1日平均処理水量} / \text{晴天時現在処理能力} \times 100$
施設の1日平均の利用状況を表す指標
- 有収率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間汚水処理水量} \times 100$
処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合を示す指標

別表 12 下水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

（１）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
下水道事業収益	2,348,869	2,350,471	1,602	100.0
営業収益	575,999	576,501	502	100.0
下水道使用料	575,212	575,827	615	100.1
その他営業収益	787	674	△ 113	85.6
営業外収益	1,700,367	1,701,466	1,099	100.0
受取利息及び配当金	5	11	6	220.0
補助金	742	742	0	100.0
他会計補助金	905,800	905,800	0	100.0
長期前受金戻入	710,191	711,802	1,611	100.2
雑収益	929	687	△ 242	73.9
消費税及び地方消費税還付金	82,700	82,424	△ 276	99.6
特別利益	72,503	72,504	1	
その他特別利益	72,503	72,504	1	100.0

（２）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①－②	執行率 ②／①
下水道事業費用	2,700,150	2,572,975	127,175	95.2
営業費用	2,255,389	2,156,370	99,019	95.6
管渠費	120,244	99,649	20,595	82.8
ポンプ場費	51,635	44,619	7,016	86.4
処理場費	461,214	423,166	38,048	91.7
浄化槽費	179,139	158,915	20,224	88.7
水洗化普及費	7,030	5,753	1,277	81.8
業務費	23,014	21,526	1,488	93.5
総係費	75,699	73,096	2,603	96.5
減価償却費	1,305,123	1,297,560	7,563	99.4
資産減耗費	32,291	32,086	205	99.3
営業外費用	320,863	309,707	11,156	96.5
支払利息及び企業債取扱諸費	312,251	304,739	7,512	97.5
雑支出	8,612	4,968	3,644	57.6
特別損失	106,898	106,898	0	100.0
減損損失	106,898	106,898	0	100.0
予備費	17,000	0	17,000	0.0
予備費	17,000	0	17,000	0.0

別表13 下水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

（1）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
資本の収入	3,316,159	Ⓐ 2,131,449	△ 1,184,710	64.2
負担金	98,086	88,906	△ 9,180	90.6
受益者負担金	96,900	87,346	△ 9,554	90.1
工事負担金	1,186	1,560	374	131.5
企業債	2,119,200	1,205,300	△ 913,900	56.8
企業債	2,119,200	1,205,300	△ 913,900	56.8
補助金	619,523	357,823	△ 261,700	57.7
国庫補助金	616,552	354,852	△ 261,700	57.5
府補助金	2,971	2,971	0	100.0
出資金	479,200	479,200	0	100.0
他会計出資金	479,200	479,200	0	100.0
固定資産売却代金	150	220	70	146.6
固定資産売却代金	150	220	70	146.6

（2）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①－②－③	執行率 ②／①
資本の支出	4,727,652	Ⓑ 2,761,198	874,960	1,091,494	58.4
建設改良費	3,177,195	1,210,744	874,960	1,091,491	38.1
事務費	32,840	29,858		2,982	90.9
固定資産取得費	1,971	1,695		276	85.9
管渠整備事業費	2,559,419	918,250	753,950	887,219	35.8
管渠改良事業費	107,862	37,408	34,050	36,404	34.6
ポンプ場改良事業費	15,196	12,184		3,012	80.1
処理場改良事業費	331,317	116,603	86,960	127,754	35.1
浄化槽整備事業費	128,590	94,746		33,844	73.6
企業債償還金	1,550,457	1,550,454		3	99.9
企業債償還金	1,550,457	1,550,454		3	99.9

（3）資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

（単位：千円）

項 目	金 額	備 考
資本の収支差引額 Ⓐ－Ⓑ	△ 629,749	
補てん財源	629,749	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	67,901	
引継金	5,729	
過年度分損益勘定留保資金	531,793	
当年度分損益勘定留保資金	24,326	

別表14 下水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年 度 項 目	令和5年度 ①	令和4年度 ②	対 前 年 比	
			金 額③ (①-②)	比率③/②*100
下水道事業収益 (A)	2,215,675	2,157,186	58,489	2.7
営業収益 (C)	524,176	517,844	6,332	1.2
下水道使用料	523,502	517,559	5,943	1.1
その他営業収益	674	285	389	136.5
営業外収益	1,618,995	1,639,342	△ 20,347	△ 1.2
受取利息	11	11	0	0.0
府補助金	742	925	△ 183	△ 19.8
他会計補助金	905,800	897,500	8,300	0.9
長期前受金戻入	711,802	739,825	△ 28,023	△ 3.8
雑収益	640	1,081	△ 441	△ 40.8
特別利益	72,504	0	72,504	#DIV/0!
引当金戻入益	0	0	0	#DIV/0!
その他特別利益	72,504	0	72,504	—
下水道事業費用 (B)	2,509,152	2,384,882	124,270	5.2
営業費用	2,092,578	2,063,364	29,214	1.4
管渠費	92,179	98,134	△ 5,955	△ 6.1
ポンプ場費	40,571	38,546	2,025	5.3
処理場費	387,282	371,611	15,671	4.2
浄化槽費	146,048	136,943	9,105	6.6
水洗化普及費	5,676	5,517	159	2.9
業務費	19,720	17,101	2,619	15.3
総係費	71,456	43,815	27,641	63.1
減価償却費	1,297,560	1,338,453	△ 40,893	△ 3.1
資産減耗費	32,086	13,244	18,842	142.3
その他営業費用	0	0	0	—
営業外費用	309,676	321,518	△ 11,842	△ 3.7
支払利息 (D)	304,739	314,912	△ 10,173	△ 3.2
雑支出	4,937	6,606	△ 1,669	△ 25.3
特別損失	106,898	0	106,898	—
その他特別損失	106,898	0	106,898	—
当年度純損益 (A)-(B)	△ 293,477	△ 227,696	△ 65,781	—
総収支比率 (A)/(B)	88.3	90.5	△ 2.2	
支払利息/営業収益 (D)/(C)	58.1	60.8	△ 2.7	

別 表 15 下水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：％)

年 度 項 目		令和5年度	令和4年度	令和3年度	備 考
総収支比率		88.3	90.5	94.2	総収益 × 100 総費用 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係 で見る指標。高い数値の方が好ましい。 この率が100%未満であれば、純損失を 生じている。
公共下水道		89.9	90.6	92.8	
	類似団体全国平均値	—	113.9	114.6	
特定環境保全公共下水道		88.9	89.3	104.5	
	類似団体全国平均値	—	105.4	104.3	
農業集落排水処理施設		86.6	91.8	110.1	
	類似団体全国平均値	—	116.1	114.9	
漁業集落排水処理施設		99.1	96.1	123.2	
	類似団体全国平均値	—	107.4	119.1	
浄化槽整備		81.7	91.7	92.1	
	類似団体全国平均値	—	108.6	107.7	
経常収支比率		89.2	90.5	94.1	営業収益＋営業外収益 ×100 営業費用＋営業外費用 特別損益を除いた経常的な収支の関係を 見る指標。高い数値の方が好ましい。 100%を超える場合は単年度黒字を、 100%未満は単年度赤字を表す。
公共下水道		89.9	90.6	92.6	
	類似団体全国平均値	—	99.1	102.3	
特定環境保全公共下水道		88.9	89.3	105.2	
	類似団体全国平均値	—	103.2	103.7	
農業集落排水処理施設		93.3	91.8	112.8	
	類似団体全国平均値	—	95.5	96.1	
漁業集落排水処理施設		99.1	96.1	123.2	
	類似団体全国平均値	—	80.2	92.1	
浄化槽整備		81.7	91.7	90.2	
	類似団体全国平均値	—	97.0	95.9	
営業収支比率		25.0	27.1	24.8	営業収益－受託工事費収益 ×100 営業費用－受託工事費 通常の営業活動に要する費用を、営業活 動に必要なものとして徴収している給水 収益等の営業収益で、どの程度賄ってい るかを示す指標。高い数値の方が好まし い。100%未満の場合は健全経営とはい えない。
公共下水道		25.1	31.4	23.6	
特定環境保全公共下水道		24.3	23.2	22.3	
農業集落排水処理施設		31.7	31.0	31.9	
漁業集落排水処理施設		20.0	37.3	21.6	
浄化槽整備		19.4	20.7	21.0	

※ 5事業全てを実施している類似団体は無いため、各事業ごとに同じ区分の団体を掲載した。

別表16

下水道事業資産

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土 地	1,696,284	1,696,284	0	0.0
	建 物	2,216,569	2,239,552	△ 22,983	△ 1.0
	構 築 物	32,016,188	32,311,034	△ 294,846	△ 0.9
	機 械 及 び 装 置	3,976,358	3,990,329	△ 13,971	△ 0.4
	車 両 運 搬 具	810	1,010	△ 200	△ 19.8
	工具器具及び備品	5,559	5,317	242	4.6
	建 設 仮 勘 定	0	0	0	—
	小 計	39,911,768	40,243,526	△ 331,758	△ 0.8
流動資産	現 金 預 金	312,676	439,297	△ 126,621	△ 28.8
	未 収 金	157,385	158,574	△ 1,189	△ 0.7
	貸 倒 引 当 金	△ 4,660	△ 3,309	△ 1,351	40.8
	貯 蔵 品	2,988	2,730	258	9.5
	前 払 金	207,599	164,958	42,641	25.8
	その他流動資産	0	0	0	—
	小 計	675,988	762,250	△ 86,262	△ 11.3
合 計		40,587,756	41,005,776	△ 418,020	△ 1.0

別表17

下水道事業負債

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企 業 債	21,645,111	21,877,097	△ 231,986	△ 1.1
	引 当 金	0	0	0	—
	その他固定負債	0	0	0	—
	小 計	21,645,111	21,877,097	△ 231,986	△ 1.1
流動負債	一 時 借 入 金	0	98,000	△ 98,000	△ 100.0
	企 業 債	1,582,786	1,550,454	32,332	2.1
	未 払 金	228,353	204,311	24,042	11.8
	前 受 金	94,834	59,153	35,681	60.3
	引 当 金	7,989	6,807	1,182	17.4
	その他流動負債	4,097	1,930	2,167	112.3
	小 計	1,918,059	1,920,655	△ 2,596	△ 0.1
繰延収益	長 期 前 受 金	19,989,358	19,680,655	308,703	1.6
	収 益 化 累 計 額	△ 2,952,819	△ 2,274,956	△ 677,863	29.8
	小 計	17,036,539	17,405,699	△ 369,160	△ 2.1
合 計 (ア)		40,599,709	41,203,451	△ 603,742	△ 1.5

別表18

下水道事業資本金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自 己 資 本 金	2,225,393	1,746,193	479,200	27.4
借入資本金	企 業 債	—	—	—	—
合 計 (イ)		2,225,393	1,746,193	479,200	27

別表19

下水道事業剰余金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資 本 剰 余 金	再 評 価 積 立 金	0	0	—	—
	受 益 者 負 担 金	0	0	—	—
	補 助 金	687,811	687,811	0	0.0
	受 贈 財 産 評 価 額	265,246	265,246	0	0.0
	寄 附 金	0	0	—	—
	工 事 負 担 金	0	0	—	—
	小 計	953,057	953,057	0	0.0
利 益 剰 余 金	減 債 積 立 金	0	0	—	—
	建 設 改 良 積 立 金	0	0	—	—
	当年度未処分利益剰余金	△ 3,190,403	△ 2,896,926	△ 293,477	10.1
	(うち当年度純利益)	(△ 293,477)	(△ 227,696)	(△ 65,781)	28.9
	小 計	△ 3,190,403	△ 2,896,926	△ 293,477	10.1
合 計 (ウ)		△ 2,237,346	△ 1,943,869	△ 293,477	15.1

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	△ 11,953	△ 197,676	185,723	△ 94.0
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	40,587,756	41,005,775	△ 418,019	△ 1.0

別表20 下水道使用料未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
令和5年度	13,187	50,411,100			0	0		
令和4年度	665	2,336,111	12,790	49,323,283	0	0	0	0
令和3年度	499	1,895,732	557	2,030,249	0	0	0	0
令和2年度	423	1,668,438	448	1,754,022	0	0	8	28,461
令和元年度	362	1,461,733	377	1,490,671	0	0	5	8,641
平成30年度	278	1,210,525	349	1,416,147	62	158,740	4	15,234
平成29年度	215	899,757	247	978,804	26	66,199	80	251,579
平成28年度	118	654,225	126	680,388	0	0	31	107,928
平成27年度	126	623,824	132	645,317	0	0	3	2,602
平成26年度	143	858,999	146	866,562	0	0	2	11,172
平成25年度	116	694,395	122	710,795	0	0	9	22,520
平成24年度	91	528,609	102	536,183	0	0	10	33,419
平成23年度	71	472,211	71	472,211	0	0	2	2,060
平成22年度	77	390,000	79	404,802	0	0	7	6,665
平成21年度	16	48,655	17	52,695	0	0	0	0
平成20年度	6	19,616	8	36,106	0	0	0	0
平成19年度	0	0	1	2,893	0	0	0	0
合 計	16,393	64,173,930	15,572	61,401,128	88	224,939	161	490,281

別表21 受益者分担金未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
令和5年度	30	3,208,000			0	0		
令和4年度	7	246,000	22	1,578,000	0	0	0	0
令和3年度	11	424,000	13	476,000	0	0	0	0
令和2年度	8	208,000	8	208,000	0	0	0	0
令和元年度	3	78,000	3	78,000	0	0	0	0
平成30年度	4	104,000	4	104,000	0	0	0	0
平成29年度	4	104,000	4	104,000	0	0	0	0
平成28年度	1	17,469	1	17,469	0	0	0	0
平成27年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年度	1	90,000	1	90,000	0	0	0	0
平成25年度	1	90,000	1	90,000	0	0	0	0
平成24年度	1	28,788	1	28,788	0	0	0	0
平成23年度	1	65,000	1	65,000	0	0	0	0
平成22年度	0	0	1	22,000	1	22,000	0	0
平成21年度	0	0	4	88,000	4	88,000	0	0
平成20年度	0	0	1	22,000	1	22,000	0	0
平成19年度	3	63,000	4	82,000	1	19,000	1	22,000
平成18年度	12	264,000	16	352,000	4	88,000	12	264,000
平成17年度	10	185,400	13	251,400	3	66,000	12	264,000
平成16年度	4	68,000	4	68,000	0	0	2	22,200
合 計	101	5,243,657	102	3,724,657	14	305,000	27	572,200

京丹後市病院事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 22 のとおりである。

一般病床と療養病床を合わせた入院患者数は、弥栄病院が延 41,624 人（1 日平均 113.7 人）、久美浜病院が延 50,892 人（同 139.0 人）で、前年度に比べて弥栄病院が 1,590 人（同 4.0 人）の増加、久美浜病院が 6,814 人（同 18.2 人）の増加となった。

外来患者数は、弥栄病院が延 85,570 人（1 日平均 352.1 人）、久美浜病院が延 80,730 人（同 332.2 人）となり、前年度に比べて弥栄病院は 8,767 人の減少、久美浜病院は 3,445 人の増加となった。

病床利用率は、弥栄病院は、前年度に比べて 2.5 ポイント増加し 70.2%に、久美浜病院は 9.5 ポイント増加し 81.8%の結果となった。

弥栄病院では、令和 3 年度から引き続いて療養病床全てをコロナ患者受入病床（一般病床化）とした。そのうち、コロナ患者受入病床を 12 床、休床を 37 床としたため、実稼働病床は 162 床となった。

(1) 入院患者の状況

入院患者の状況は、別表 23、別表 26 及び別表 27 のとおりである。

一般病床においては、弥栄病院では人工透析、眼科、産婦人科で患者数が減少したものの、内科、総合診療科等で増加し、延患者数は 41,624 人と、前年度に比べて 1,590 人の増加となった。また、久美浜病院では整形外科、泌尿器科で患者数が減少した。特に整形外科は 2,424 人の減少となったが、内科、外科で 5,110 人の増加となった。延患者数は 31,904 人で、前年度に比べて 4,047 人の増加となった。

療養病床においては、久美浜病院で 18,988 人と前年度に比べて 2,767 人の増加となった。

施設の利用状況を表す病床利用率は、別表 29 のとおりである。

弥栄病院の一般病床の利用率は 70.2%で、前年度に比べて 2.5 ポイント増加した。久美浜病院の一般病床の利用率は 79.2%で、前年度に比べて 7.9 ポイント増加し、療養病床では 86.5%と 12.4 ポイント増加した。

(2) 外来患者の状況

外来患者の状況は、別表 23 及び別表 28 のとおりである。

弥栄病院では、整形外科、眼科、人工透析、内科などで患者数が減少し、小児科などで増加したが、延患者数は 85,570 人と、前年度に比べ 8,767 人の減少となった。

久美浜病院では、歯科・歯科口腔外科、小児科、外科などで患者数が増加、内科、整形外科などで減少し、延患者数は 80,730 人と、前年度に比べ 3,445 人の増加となった。

(3) 訪問看護事業の状況

訪問看護事業の状況は、別表 24 のとおりである。

弥栄病院では、訪問実人数は 2,998 人で前年度に比べ 231 人の減少、訪問延人数は 12,109 人で前年度に比べ 1,011 人の減少となった。久美浜病院では、訪問実人数は 1,728 人で前年度に比べ 57 人の減少となり、訪問延人数は 8,922 人で前年度に比べ 202 人の減少となった。

(4) 通所リハビリテーション事業の状況

通所リハビリテーション事業の状況は、別表 25 のとおりである。

平成 19 年度から久美浜病院で実施されている事業であり、通所実人数は 539 人で前年度に比べ 124 人の増加となった。また、通所延人数は 3,453 人で 160 人の減少となった。

2 予算執行状況（税込）

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の執行状況は、別表 32、別表 33 のとおりである。

収益的収入である病院事業収益は、70 億 1,238 万 3 千円であった。

弥栄病院事業収益は、前年度に比べて 3 億 9,901 万 8 千円減少しており、その内訳は医業外収益が 2 億 1,626 万 1 千円、医業収益が 1 億 6,975 万 7 千円の減少などである。久美浜病院事業収益は、前年度に比べて 5,459 万 2 千円増加しており、その内訳は医業収益が 9,114 万 3 千円増加し、特別利益が 2,130 万 7 千円、医業外収益が 1,385 万 4 千円の減少などである。

収益的支出である病院事業費用は、72 億 4,612 万 8 千円であった。不用額は総額 4 億 4,664 万 8 千円となっている。

弥栄病院事業費用は、前年度に比べて 2 億 8,352 万 3 千円減少しており、その内訳は、特別損失が 2 億 248 万 3 千円、医業費用が 8,857 万円の減少、訪問看護事業費用 547 万円の増加などである。久美浜病院事業費用は、前年度に比べて 1 億 3,310 万 4 千円減少しており、主に、特別損失が 2 億 2,824 万 7 千円、訪問看護事業費用が 394 万 6 千円の減少、医業費用が 9,898 万 5 千円増加していることなどによるものである。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の執行状況は、別表 33 のとおりである。

資本的収入は 6 億 6,119 万 4 千円、資本的支出は 8 億 3,453 万 3 千円であった。

改良工事に関しては 558 万 8 千円（弥栄病院 257 万 6 千円、久美浜病院 301 万 2 千

円) 支出し、器械及び備品整備については 2 億 7,036 万 8 千円(弥栄病院 1 億 9,389 万円、久美浜病院 7,647 万 8 千円)を支出した。医師の確保など診療の充実を目指した投資などを行っている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 1 億 7,333 万 9 千円は、損益勘定留保資金等で補てんしている。

3 経営成績(税抜)

損益計算書による経営成績は、別表 34 のとおりである。

総収益 69 億 8,375 万円に対して総費用 72 億 1,513 万 9 千円で、差し引き 2 億 3,138 万 9 千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金 36 億 9,232 万 6 千円を加え、当年度未処理欠損金(累積欠損金)は、39 億 2,371 万 6 千円となっている。

病院別の状況については、弥栄病院の総収益は 38 億 3,978 万 5 千円、総費用は 41 億 1,116 万 8 千円で、差し引き 2 億 7,138 万 3 千円の純損失となり、当年度未処理欠損金は、22 億 8,331 万 1 千円となっている。医業収益は 30 億 6,050 万 2 千円で、前年度に比べて 1 億 7,218 万 6 千円減少、医業費用は 38 億 1,326 万 7 千円と、前年度に比べて 8,435 万 6 千円減少し、医業損失は 7 億 5,276 万 5 千円で前年度と比べ 8,783 万円の増加となり、悪化している。

次に、久美浜病院の総収益は 31 億 4,396 万 5 千円、総費用は 31 億 397 万 2 千円で、差し引き 3,999 万 3 千円の純利益となり、当年度未処理欠損金は 16 億 4,040 万 5 千円となっている。医業収益は 25 億 5,899 万 3 千円で、前年度に比べて 9,134 万 1 千円の増加となった。医業費用は 29 億 56 万 1 千円と、前年度に比べて 9,824 万 4 千円増加しており、医業損失は 3 億 4,156 万 8 千円で前年度と比べ 690 万 3 千円の増加となり、こちらも悪化している。

医業における経営状態を示す比率は、別表 31 のとおりである。

経常収支比率は、収益と費用を対比して経営活動の成果を示すものであり、比率が大きいほど良好であるが、前年度に比べて 4.6 ポイントの減少(弥栄病院 7.4 ポイントの減少、久美浜病院 0.6 ポイントの減少)となった。

医業収益対医業費用比率は、医業費用に対する医業収益の比率を示すものであり、100%未満は医業収支が赤字であることになる。前年度に比べて 1.5 ポイントの減少(弥栄病院 3.0 ポイントの減少、久美浜病院 0.2 ポイントの増加)となった。

4 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、別表 35～38 のとおりである。

資産の総額は 87 億 7,032 万 1 千円で、前年度に比べて 6 億 2,220 万 7 千円減少している。

固定資産は、総額で 3 億 2,977 万 6 千円減少しており、主な内訳として、建物が 2 億 9,101 万 8 千円、構築物が 1,696 万円の減少などとなっている。

診療費の未収金の状況は、次のとおりである。

3 月 31 日現在

（単位：千円）

区 分	令和 5 年度			令和 4 年度		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
未 収 金	56,169	35,536	20,633	58,652	36,246	21,806
不納欠損	0	0	0	0	0	0

未収金の総額は 5,616 万 9 千円で、前年度に比べて 188 万 3 千円減少（弥栄病院は 71 万円の減少、久美浜病院は 117 万 3 千円の減少）している。

負債の総額は 88 億 1,217 万 1 千円で、前年度に比べて 4 億 1,419 万円減少している。固定負債では企業債が 2 億 8,053 万 5 千円減少しており、流動負債では一時借入金 3,000 万円、未払金が 2 億 1,182 万 2 千円減少しており、増加は引当金が 846 万 6 千円、企業債が 110 万 1 千円などとなっている。

資本合計は 4,185 万円で、前年度に比べて 2 億 801 万 7 千円減少している。

企業債の状況は次のとおりである。

（単位：千円）

区 分	令和 4 年度 末残高	令和 5 年度		令和 5 年度 末残高	令和 5 年度 支払利息
		発行額	償還額		
弥栄病院	5,628,364	187,800	296,076	5,520,088	32,316
久美浜病院	1,075,066	74,500	245,658	903,908	9,955
合 計	6,703,430	262,300	541,734	6,423,996	42,271

企業債残高は、64 億 2,399 万 6 千円で、前年度に比べて 2 億 7,943 万 4 千円減少している。

病院別の状況については、弥栄病院では、企業債残高は 55 億 2,008 万 8 千円で、

前年度に比べて1億827万6千円減少している。企業債利息は3,231万6千円で、医業収益30億6,050万2千円に占める割合は1.1%（前年度1.0%）と増加している。

次に、久美浜病院では、企業債残高は9億390万8千円で、前年度に比べて1億7,115万8千円減少している。企業債利息は995万5千円で、医業収益25億5,899万3千円に占める割合は0.4%（前年度0.6%）と減少している。

5 むすび

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症へと移行され、感染症への対応も行いながら、社会経済活動の回復とともに通常の地域医療提供体制となった。弥栄病院では前年度に引き続き、5月以降も新型コロナ専用の病床の確保を行いながら医療提供体制の確保に取り組んできた。さらに地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、在宅療養や入院支援などの更なる連携強化に取り組むとともに、訪問診療の医師体制を強化し、在宅医療提供体制の充実を図った。久美浜病院では、令和4年度はコロナ禍で入院患者が著しく減少したこともあり、地域医療連携室の体制強化とともに近隣病院との医療連携を積極的に進め、病床利用率の増加を図った。具体的には、府県境を越えて隣接する但馬地域の病院や診療所からの患者受け入れを行い、北近畿内の病院や診療所との連携強化を図るとともに、障がい児・者や学童外来での歯科診療や重度心身障がい者の短期入所利用の受け入れを行った。

病院の医師体制について、弥栄病院では、産婦人科医師1名と内科医師が2名増え、より充実した周産期医療や訪問診療体制等の強化を図ることができた。久美浜病院では、小児外科医が1名増え、小児医療、小児救急医療の充実を図ることができた。内科医師の増員は叶わなかったが、昨年度に引き続き研修医を受け入れることで内科診療や救急、時間外診療の支援など医療提供体制の維持につながった。

両病院とも、医師体制が充実しているとは言えない中、医師不足の解消に向けて精力的に招へい活動をするなどの努力もあって、関係機関からの医師の派遣を受けるなどして、患者需要に応えていただいた。しかしながら、依然として医師の獲得につながりにくい状況にあり、引き続き多方面からの招へい活動に尽力されたい。

経常収支について、弥栄病院では昨年度に続き赤字決算となったが、久美浜病院については黒字決算となった。

収益面を見ると、弥栄病院では患者数の動向に合わせ、入院収益は増加したが、外来収益は大きく減少した。久美浜病院でも外来収益は減少したが、入院収益の増加が大きかったことから医業収益は増加した。

費用面を見ると、両市立病院とも人件費が増加しており、弥栄病院では、減価償却費、材料費、経費が減少している。久美浜病院では外来、入院患者とも増加したことから材料費も増加している。

令和4年度は資金不足比率がプラスに転じたものの令和5年度には再びマイナス

となった。特に病院の本業である医業損失の改善が必要であり、そのためには安定的に入院収入を確保することが肝要であり、診療科ごとの患者数、診療収入などに注目し、患者のニーズに応えられるよう常勤医師の拡充や各部門の連携を図ることによって、医療体制を強化する必要がある。

個人が窓口で支払うべき診療費の未収金については、前年度に比べ減少した。

電話及び文書による督促や訪問徴収に加え、弁護士法人への回収業務の委託やクレジットカードによる支払を導入しているが、依然、多額の未収金があることから、先進事例も参考にしながら徴収に努められたい。また、令和5年度も不能欠損処理を行っていないが、回収見込みのない債権は適正に不納欠損処理をするべきである。負担の公平性、経営の健全化を推し進める観点から、診療費の滞納整理については、今後も関係部局等と連携して積極的な対応を求めるものである。また、未収金の増加を防ぐために、現年度の未収金が生じないような工夫を行うとともに、未収金が生じた場合でも回収を早期に着手するなど、債権の適正な管理と徴収に努められたい。

市立診療所も含めた市全体の医療体制については、将来にわたって地域医療、救急医療、産科・小児科医療、在宅医療、リハビリ等、幅広く必要な医療を提供し、公的医療施設に求められる役割が十分に果たせるよう、経営改善への具体的な方策をもって持続可能な運営に努める必要がある。病院施設及び設備についても長期的な展望に立って計画的に整備し、患者サービスと医療の質の向上のため、有効に活用されたい。

医療を取り巻く環境の変化や多様化する患者のニーズを的確に把握し、今後も、全職員が経営感覚を常に念頭に置きながら、各病院の特色を生かして医療サービスの向上と経営改善に取り組まれたい。そして、市民に信頼され、地域に密着した良質で必要とされる医療等のサービスを提供し続けるためにも、中長期的な目線で安定的な経営基盤が確立されるよう強く望むものである。

病院事業会計 決算審査資料

別表22	病院事業の概要	44
別表23	入院患者・外来患者の状況	45
別表24	訪問看護の状況	45
別表25	通所リハビリテーションの状況	45
別表26	診療科目別入院患者の状況（一般病床）	46
別表27	診療科目別入院患者の状況（療養病床）	47
別表28	診療科目別外来患者の状況	48
別表29	病床利用率	49
別表30	患者1人1日当たり診療収入	49
別表31	収支比率	49
別表32	収益的収支（税込）	50
別表33	資本的収支（税込）	51
別表34	損益計算書（税抜）	52
別表35	資産	54
別表36	負債	54
別表37	資本金	55
別表38	剰余金	55

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表22 病院事業の概要

項 目				単位	弥 栄 病 院			久 美 浜 病 院		
					令和5年度	令和4年度	対前年比	令和5年度	令和4年度	対前年比
医 業	病 床 数 ※1			床	199	199	0	170	170	0
				年 間 延	床	59,292	59,130	162	62,220	60,955
	患 者 数	入 院	年 間 延	人	41,624	40,034	1,590	50,892	44,078	6,814
			1日平均	人	113.7	109.7	4.0	139.0	120.8	18.2
		外 来	年 間 延	人	85,570	94,337	△ 8,767	80,730	77,285	3,445
			1日平均	人	352.1	388.2	△ 36.1	332.2	318.0	14.2
	病床利用率			%	70.2	67.7	2.5	81.8	72.3	9.5
	外来診療実日数			日	243	243	0	243	243	0
	医業費用(税抜)			千円	3,813,267	3,897,623	△ 84,356	2,900,561	2,802,316	98,245
	医業収益(税抜)			千円	3,060,502	3,232,688	△ 172,186	2,558,993	2,467,652	91,341
	入 院 外 来 収 益 (税 抜)	入 院	総 額	千円	1,844,520	1,782,865	61,655	1,513,630	1,394,880	118,750
			1人1日平均	円	44,314	44,534	△ 220	29,742	31,646	△ 1,904
		外 来	総 額	千円	773,754	1,032,138	△ 258,384	759,635	815,081	△ 55,446
			1人1日平均	円	9,042	10,941	△ 1,899	9,410	10,546	△ 1,136
訪問看護事業（事業日数は外来診療実日数に同じ）		訪問実人数		人	2,998	3,229	△ 231	1,728	1,785	△ 57
		訪問延人数		人	12,109	13,120	△ 1,011	8,922	9,124	△ 202
		1日平均訪問患者数		人	49.8	54.0	△ 4.2	36.7	37.5	△ 0.8
通所リハビリテーション事業（事業日数は弥栄病院は243日、久美浜病院は242日）		通所実人数		人				539	415	124
		通所延人数		人				3,453	3,613	△ 160
		1日平均通所患者数		人				14.2	14.9	△ 0.7
職 員 数 (年度末現在)		医 師		人	20	16	4	21	21	0
		看 護 師 ※2		人	164	170	△ 6	163	163	0
		そ の 他		人	106	106	0	104	103	1
		計		人	290	292	△ 2	288	287	1

※1 弥栄病院は、一般病床199床のうち、コロナ患者受入病床12床、休床37床。実稼働病床162床。

※2 職員数の看護師には助産師・准看護師・介護福祉士・看護助手・介護助手を含む

別表23 入院患者・外来患者の状況

(単位：人、％)

区 分		年 度	令和5年度		令和4年度		対 前 年 比	
			延患者数 (A)	1日平均 患 者 数	延患者数 (B)	1日平均 患 者 数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
入 院	一般病床 (309床) 合 計		73,528	200.9	67,891	186.0	5,637	8.3
	弥 栄 病 院 (199床) ※1		41,624	113.7	40,034	109.7	1,590	4.0
	久美浜病院 (110床)		31,904	87.2	27,857	76.3	4,047	14.5
	療養病床 (60床) 合 計		18,988	51.9	16,221	44.4	2,767	17.1
	弥 栄 病 院 (0床)		0	0.0	0	0.0	0	0.0
	久美浜病院 (60床)		18,988	51.9	16,221	44.4	2,767	17.1
外 来	合 計		166,300	684.3	171,622	706.2	△ 5,322	△ 3.1
	弥 栄 病 院 診療実日数 (243日)		85,570	352.1	94,337	388.2	△ 8,767	△ 9.3
	久美浜病院 診療実日数 (243日)		80,730	332.2	77,285	318.0	3,445	4.5

※1 弥栄病院の病床数は、一般病床162床（一般病床199床中、休床37床）。

別表24 訪問看護の状況

(単位：人)

区 分		年 度	令和5年度			令和4年度			対 前 年 比	
			訪 問 実 人 数 (A)	訪 問 延 人 数 (B)	1日平均 訪 問 患 者 数	訪 問 実 人 数 (C)	訪 問 延 人 数 (D)	1日平均 訪 問 患 者 数	増減 (A)－(C)	増減 (B)－(D)
合 計			4,726	21,031	86.5	5,014	22,244	91.5	△ 288	△ 1,213
弥 栄 病 院			2,998	12,109	49.8	3,229	13,120	54.0	△ 231	△ 1,011
久美浜病院			1,728	8,922	36.7	1,785	9,124	37.5	△ 57	△ 202

別表25 通所リハビリテーションの状況

(単位：人、％)

区 分		年 度	令和5年度			令和4年度			対 前 年 比	
			通 所 実 人 数 (A)	通 所 延 人 数 (B)	1日平均 通 所 患 者 数	通 所 実 人 数 (C)	通 所 延 人 数 (D)	1日平均 通 所 患 者 数	増減 (A)－(C)	増減 (B)－(D)
合 計			539	3,453	14.2	415	3,613	14.9	124	△ 160
弥 栄 病 院										
久美浜病院			539	3,453	14.2	415	3,613	14.9	124	△ 160

別表 26

診療科目別入院患者の状況（一般病床）

診療科	年 度	令和5年度			令和4年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
199 床 ※1	弥栄病院								
	内 科	22,039	60.3	52.9	20,885	57.2	52.2	1,154	3.1
	外 科	1,335	3.6	3.2	1,207	3.3	3.0	128	0.3
	整形外科	8,220	22.5	19.7	8,049	22.1	20.1	171	0.4
	産婦人科	1,508	4.1	3.6	1,567	4.3	3.9	△ 59	△ 0.2
	小児科	404	1.1	1.0	399	1.1	1.0	5	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	1,737	4.7	4.2	1,797	4.9	4.5	△ 60	△ 0.2
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	3,145	8.6	7.6	3,446	9.4	8.6	△ 301	△ 0.8
	リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	3,236	8.8	7.8	2,684	7.4	6.7	552	1.4
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	41,624	113.7	100.0	40,034	109.7	100.0	1,590	4.0
110 床	久美浜病院								
	内 科	17,098	46.7	53.6	14,085	38.6	50.6	3,013	8.1
	外 科	6,138	16.8	19.2	4,041	11.1	14.5	2,097	5.7
	整形外科	3,368	9.2	10.6	5,792	15.9	20.8	△ 2,424	△ 6.7
	小児科	866	2.4	2.7	372	1.0	1.3	494	1.4
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	193	0.5	0.6	124	0.3	0.4	69	0.2
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	1,044	2.9	3.3	1,166	3.2	4.2	△ 122	△ 0.3
	歯科・歯科 口腔外科	3,197	8.7	10.0	2,277	6.2	8.2	920	2.5
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	31,904	87.2	100.0	27,857	76.3	100.0	4,047	10.9
合 計		73,528	200.9		67,891	186.0		5,637	14.9

※1 弥栄病院の病床数は、一般病床162床（一般病床199床中、休床37床）。

別表 27

診療科目別入院患者の状況（療養病床）

診療科	年 度	令和5年度			令和4年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
0 床	弥栄病院								
	内 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	外 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	整形外科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	産婦人科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	小児科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	眼 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	泌尿器科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	人工透析	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	リハビリテーション科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	精神科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	小 計	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
60 床	久美浜病院								
	内 科	12,375	33.8	65.1	10,634	29.1	65.6	1,741	4.7
	外 科	4,864	13.3	25.6	3,545	9.7	21.9	1,319	3.6
	整形外科	751	2.1	4.0	1,205	3.3	7.3	△ 454	△ 1.2
	小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	998	2.7	5.3	837	2.3	5.2	161	0.4
	歯科・歯科 口腔外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	心療内科・ 精 神 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	18,988	51.9	100.0	16,221	44.4	100.0	2,767	7.5
合 計		18,988	51.9		16,221	44.4		2,767	7.5

別表28

診療科目別外来患者の状況

年 度 診療科		令和5年度			令和4年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥 栄 病 院	内 科	27,280	112.4	31.9	27,693	114.0	29.3	△ 413	△ 1.6
	外 科	1,427	5.9	1.7	1,471	6.0	1.5	△ 44	△ 0.1
	整形外科	11,311	46.5	13.2	18,698	76.9	19.8	△ 7,387	△ 30.4
	産婦人科	6,981	28.7	8.2	7,143	29.4	7.6	△ 162	△ 0.7
	小児科	4,421	18.2	5.2	3,670	15.1	3.9	751	3.1
	耳鼻咽喉科	1,510	6.2	1.8	1,478	6.1	1.6	32	0.1
	眼 科	13,111	54.0	15.3	13,746	56.6	14.6	△ 635	△ 2.6
	泌尿器科	1,537	6.3	1.8	1,623	6.7	1.7	△ 86	△ 0.4
	人工透析	7,739	31.8	9.0	8,362	34.4	8.9	△ 623	△ 2.6
	リハビリテーション科	811	3.3	0.9	782	3.2	0.8	29	0.1
	皮膚科	2,353	9.7	2.7	2,340	9.6	2.5	13	0.1
	総合診療科	2,853	11.7	3.3	3,015	12.4	3.2	△ 162	△ 0.7
	精神科	4,236	17.4	5.0	4,316	17.8	4.6	△ 80	△ 0.4
	小 計	85,570	352.1	100.0	94,337	388.2	100.0	△ 8,767	△ 36.1
久 美 浜 病 院	内 科	25,402	104.4	31.4	25,904	106.6	33.5	△ 502	△ 2.2
	外 科	5,790	23.8	7.2	5,057	20.8	6.5	733	3.0
	整形外科	6,122	25.2	7.6	6,259	25.7	8.1	△ 137	△ 0.5
	小児科	13,549	55.8	16.8	11,971	49.3	15.5	1,578	6.5
	皮膚科	1,279	5.3	1.6	1,316	5.4	1.7	△ 37	△ 0.1
	眼 科	3,729	15.3	4.6	3,861	15.9	5.0	△ 132	△ 0.6
	耳鼻咽喉科	1,374	5.7	1.7	1,285	5.3	1.7	89	0.4
	泌尿器科	3,373	13.9	4.2	3,365	13.8	4.4	8	0.1
	歯科・歯科 口腔外科	19,709	81.1	24.4	17,880	73.6	23.1	1,829	7.5
	心療内科・ 精 神 科	403	1.7	0.5	387	1.6	0.5	16	0.1
	小 計	80,730	332.2	100.0	77,285	318.0	100.0	3,445	14.2
合 計		166,300	684.3		171,622	706.2		△ 5,322	△ 21.9

別表29 病床利用率

(単位：％)

区 分	算 出 方 法	年度 病 院	令和5年度	令和4年度	令和3年度	対前年比
一般病床 ※	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年 延 病 床 数}} \times 100$	合 計	73.9	69.1	72.3	4.8
		弥栄病院	70.2	67.7	66.8	2.5
		久美浜病院	79.2	71.3	80.5	7.9
療養病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年 延 病 床 数}} \times 100$	合 計	86.5	74.1	76.0	12.4
		弥栄病院	0.0	0.0	61.2	0.0
		久美浜病院	86.5	74.1	78.0	12.4

※ 弥栄病院の病床数は、一般病床162床（一般病床199床中、休床37床）。

別表30 患者1人1日当たり診療収入

(単位：円)

区 分	算 出 方 法	年度 病 院	令和5年度	令和4年度	令和3年度	対前年比
入院診療収入 (一般病床)	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	合 計	41,382	42,636	40,772	△ 1,254
		弥栄病院	44,314	44,534	42,571	△ 220
		久美浜病院	37,557	39,910	38,538	△ 2,353
入院診療収入 (療養病床)	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	合 計	16,611	17,454	16,656	△ 843
		弥栄病院	0	0	19,863	0
		久美浜病院	16,611	17,454	16,318	△ 843
外来診療収入	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年延外来患者数}}$	合 計	9,221	10,763	12,652	△ 1,542
		弥栄病院	9,042	10,941	15,409	△ 1,899
		久美浜病院	9,410	10,546	9,119	△ 1,136
訪問看護収入	$\frac{\text{訪問看護事業収益}}{\text{年延訪問看護患者数}}$	合 計	9,463	9,340	9,452	123
		弥栄病院	9,115	9,105	9,306	10
		久美浜病院	9,936	9,678	9,672	258
通所リハビリ収入	$\frac{\text{通所リハビリ事業収益}}{\text{年 延 通 所 患 者 数}}$	合 計	10,554	10,567	10,789	△ 13
		弥栄病院				
		久美浜病院	10,554	10,567	10,789	△ 13

別表31 病院事業収支比率

(単位：％)

区 分	算 出 方 法	年度 病 院	令和5年度	令和4年度	令和3年度	対前年比
経常収支比率	$\frac{\text{医業収益+医業外収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+医業外費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合 計	96.2	100.8	100.3	△ 4.6
		弥栄病院	93.4	100.8	100.1	△ 7.4
		久美浜病院	100.1	100.7	100.6	△ 0.6
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合 計	84.7	86.2	88.4	△ 1.5
		弥栄病院	80.8	83.8	86.5	△ 3.0
		久美浜病院	89.8	89.6	91.2	0.2

別表 32

病院事業収益の収支（税込）

（単位：千円）

区 分 \ 年 度		令和5年度			令和4年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
収益的収入	医 業 収 益	5,645,615	3,078,098	2,567,517	5,724,229	3,247,855	2,476,374
	医 業 外 収 益	1,071,804	654,029	417,775	1,301,919	870,290	431,629
	訪問看護事業収益	199,027	110,375	88,652	207,758	119,452	88,306
	通所リハビリテーション事業収益	36,442		36,442	38,178		38,178
	特 別 利 益	59,495	16,426	43,069	84,725	20,349	64,376
	合 計	7,012,383	3,858,928	3,153,455	7,356,809	4,257,946	3,098,863
収益的支出	医 業 費 用	6,912,904	3,921,664	2,991,240	6,902,489	4,010,234	2,892,255
	医 業 外 費 用	113,471	81,801	31,670	110,403	79,741	30,662
	訪問看護事業費用	171,377	110,749	60,628	169,853	105,279	64,574
	通所リハビリテーション事業費用	27,469		27,469	28,373		28,373
	特 別 損 失	20,907	15,670	5,237	451,637	218,153	233,484
	予 備 費	0	0	0	0	0	0
	合 計	7,246,128	4,129,884	3,116,244	7,662,755	4,413,407	3,249,348

別表 33

病院事業資本の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		年 度	令和5年度			令和4年度		
			計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
資本の収入	企 業 債		220,000	167,800	52,200	423,500	176,200	247,300
	他 会 計 出 資 金		0	0	0	0	0	0
	他 会 計 負 担 金		342,070	174,811	167,259	368,115	178,114	190,001
	補 助 金		97,274	30,262	67,012	72,785	55,536	17,249
	長期貸付金返還金		1,850	925	925	2,650	1,325	1,325
	寄 附 金		0	0	0	0	0	0
	小 計		661,194	373,798	287,396	867,050	411,175	455,875
	補填財源	消費税及び地方消費税資本の収支調整額	0			0		
		繰越工事資金	0			0		
		損 益 勘 定 等 留 保 資 金 等	173,339	128,807	44,532	276,491	125,496	150,995
		利 益 剰 余 金	0			0		
		小 計	173,339	128,807	44,532	276,491	125,496	150,995
	合 計		834,533	502,605	331,928	1,143,541	536,671	606,870
資本の支出	建 設 改 良 費		279,239	199,749	79,490	560,738	245,971	314,767
	企 業 債 償 還 金		541,734	296,076	245,658	566,243	282,420	283,823
	長 期 貸 付 金		13,560	6,780	6,780	16,560	8,280	8,280
	合 計		834,533	502,605	331,928	1,143,541	536,671	606,870

別表34

病院事業損益計算書（税抜）

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	令和5年度			令和4年度			対前年比			対前年度比 計（%）
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業収益 (A)	6,983,750	3,839,786	3,143,964	7,330,571	4,241,588	3,088,983	△ 346,821	△ 401,802	54,981	△ 4.7
医業収益	5,619,495	3,060,502	2,558,993	5,700,340	3,232,688	2,467,652	△ 80,845	△ 172,186	91,341	△ 1.4
入院収益	3,358,150	1,844,520	1,513,630	3,177,745	1,782,866	1,394,879	180,405	61,654	118,751	5.7
外来収益	1,533,389	773,754	759,635	1,847,219	1,032,138	815,081	△ 313,830	△ 258,384	△ 55,446	△ 17.0
他会計負担金	463,518	251,522	211,996	427,070	246,854	180,216	36,448	4,668	31,780	8.5
その他医業収益	264,438	190,706	73,732	248,306	170,830	77,476	16,132	19,876	△ 3,744	6.5
医業外収益	1,069,290	652,482	416,808	1,299,571	869,099	430,472	△ 230,281	△ 216,617	△ 13,664	△ 17.7
受取利息配当金	6	5	1	6	4	2	0	1	△ 1	0.0
他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
補助金	247,374	173,050	74,324	505,695	422,268	83,427	△ 258,321	△ 249,218	△ 9,103	△ 51.1
負担金交付金	509,891	271,824	238,067	492,036	264,913	227,123	17,855	6,911	10,944	3.6
患者外給食収益	2,952	2,952	0	1,652	1,613	39	1,300	1,339	△ 39	78.7
長期前受金戻入	263,624	187,052	76,572	246,342	160,258	86,084	17,282	26,794	△ 9,512	7.0
その他医業外収益	45,443	17,599	27,844	53,840	20,043	33,797	△ 8,397	△ 2,444	△ 5,953	△ 15.6
訪問看護事業収益	199,026	110,375	88,651	207,757	119,451	88,306	△ 8,731	△ 9,076	345	△ 4.2
訪問看護療養費収益	184,787	103,002	81,785	192,830	111,228	81,602	△ 8,043	△ 8,226	183	△ 4.2
利用料収益	14,239	7,373	6,866	14,927	8,223	6,704	△ 688	△ 850	162	△ 4.6
通所リハビリテーション事業収益	36,443		36,443	38,178		38,178	△ 1,735		△ 1,735	△ 4.5
通所リハビリテーション療養費収益	30,153		30,153	32,138		32,138	△ 1,985		△ 1,985	△ 6.2
利用料収益	6,290		6,290	6,040		6,040	250		250	4.1
特別利益	59,496	16,427	43,069	84,725	20,350	64,375	△ 25,229	△ 3,923	△ 21,306	△ 29.8
過年度損益修正益	5,402	302	5,100	0	0	0	5,402	302	5,100	—
長期前受金戻入	40,713	2,744	37,969	79,899	16,054	63,845	△ 39,186	△ 13,310	△ 25,876	—
その他特別利益	13,381	13,381	0	4,826	4,296	530	8,555	9,085	△ 530	177.3

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	令和5年度			令和4年度			対前年比(R5-R4)			対前年度比 計 (%) R5/R4 *100-100
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業費用 (B)	7,215,140	4,111,168	3,103,972	7,642,236	4,405,428	3,236,808	△ 427,096	△ 294,260	△ 132,836	△ 5.6
医業費用	6,713,828	3,813,267	2,900,561	6,699,939	3,897,623	2,802,316	13,889	△ 84,356	98,245	0.2
給与費	4,141,435	2,305,855	1,835,580	4,036,377	2,243,895	1,792,482	105,058	61,960	43,098	2.6
材料費	918,253	571,916	346,337	998,223	684,721	313,502	△ 79,970	△ 112,805	32,835	△ 8.0
経 費	1,057,359	511,432	545,927	1,075,842	529,160	546,682	△ 18,483	△ 17,728	△ 755	△ 1.7
減価償却費	560,783	400,331	160,452	566,093	428,844	137,249	△ 5,310	△ 28,513	23,203	△ 0.9
資産減耗費	15,373	13,830	1,543	4,210	2,769	1,441	11,163	11,061	102	265.2
研究研修費	20,625	9,903	10,722	19,194	8,234	10,960	1,431	1,669	△ 238	7.5
医業外費用	282,667	172,016	110,651	293,523	184,879	108,644	△ 10,856	△ 12,863	2,007	△ 3.7
支払利息及び企業債取扱諸費	42,405	32,367	10,038	48,331	33,479	14,852	△ 5,926	△ 1,112	△ 4,814	△ 12.3
長期前払消費税償却	42,561	29,753	12,808	42,336	32,537	9,799	225	△ 2,784	3,009	0.5
患者外給食材料費	1,980	1,980	0	1,621	1,613	8	359	367	△ 8	22.1
雑損失	195,721	107,916	87,805	201,235	117,250	83,985	△ 5,514	△ 9,334	3,820	△ 2.7
訪問看護事業費用	170,555	110,215	60,340	169,055	104,773	64,282	1,500	5,442	△ 3,942	0.9
給与費	163,472	105,491	57,981	162,054	100,222	61,832	1,418	5,269	△ 3,851	0.9
材料費	41	0	41	91	91	0	△ 50	△ 91	41	△ 54.9
経 費	6,800	4,599	2,201	6,759	4,425	2,334	41	174	△ 133	0.6
研究研修費	242	125	117	151	35	116	91	90	1	60.3
通所リハビリテーション事業費用	27,183		27,183	28,082		28,082	△ 899		△ 899	△ 3.2
給与費	24,309		24,309	24,929		24,929	△ 620		△ 620	△ 2.5
材料費	987		987	1,159		1,159	△ 172		△ 172	△ 14.8
経 費	1,778		1,778	1,758		1,758	20		20	1.1
研究研修費	109		109	236		236	△ 127		△ 127	△ 53.8
特別損失	20,907	15,670	5,237	451,637	218,153	233,484	△ 430,730	△ 202,483	△ 228,247	△ 95.4
過年度損益修正損	866	287	579	0	0	0	866	287	579	皆増
その他特別損失	20,041	15,383	4,658	451,637	218,153	233,484	△ 431,596	△ 202,770	△ 228,826	△ 95.6
当年度純損益 (A)-(B)	△ 231,390	△ 271,382	39,992	△ 311,665	△ 163,840	△ 147,825	80,275	△ 107,542	187,817	△ 25.8
当年度未処理欠損金	3,923,716	2,283,310	1,640,406	3,692,326	2,011,928	1,680,398	231,390	271,382	△ 39,992	6.3
総収益対総費用比率 (A)/(B)	96.8	93.4	101.3	95.9	96.3	95.4	0.9	△ 2.9	5.9	

(注) 制度改正に伴い、平成26年度以降の当年度未処理欠損金は、(前年度繰越欠損金＋当年度純損益－その他未処分利益剰余金変動額)により計算

別表 35

病 院 事 業 資 産

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	令和5年度末 償却未済高			令和4年度末 償却未済高		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定資産	7,431,729	5,578,890	1,852,839	7,761,505	5,822,293	1,939,212
有形固定資産	7,015,812	5,257,003	1,758,809	7,334,832	5,491,531	1,843,301
土地	511,888	101,998	409,890	511,888	101,998	409,890
建物	5,017,275	4,195,386	821,889	5,308,293	4,430,141	878,152
構築物	204,521	180,676	23,845	221,481	195,852	25,629
器械及び備品	1,259,671	762,659	497,012	1,264,923	740,629	524,294
車両	10,303	6,868	3,435	12,710	7,374	5,336
リース資産	7,074	7,074	0	15,537	15,537	0
その他有形固定資産	0	0	0	0	0	0
建設仮勘定	5,080	2,342	2,738	0	0	0
無形固定資産	1,371	523	848	1,510	523	987
電話加入権	523	523	0	523	523	0
ソフトウェア	0	0	0	0	0	0
下水道利用権	848	0	848	987	0	987
投資	414,546	321,364	93,182	425,163	330,239	94,924
長期貸付金	64,880	32,440	32,440	56,770	28,385	28,385
長期前払消費税	349,666	288,924	60,742	368,393	301,854	66,539
流動資産	1,338,592	763,188	575,404	1,631,023	1,043,560	587,463
現金預金	374,545	271,985	102,560	491,888	358,082	133,806
未収金	936,178	482,845	453,333	1,113,425	676,903	436,522
貯蔵品	27,694	8,183	19,511	25,614	8,479	17,135
その他流動資産	175	175	0	96	96	0
合 計	8,770,321	6,342,078	2,428,243	9,392,528	6,865,853	2,526,675

別表 36

病 院 事 業 負 債

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	令和5年度末 現在高			令和4年度末 現在高		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定負債	5,882,216	5,186,632	695,584	6,164,559	5,335,151	829,408
企業債	5,881,161	5,185,577	695,584	6,161,696	5,332,288	829,408
リース債務	1,055	1,055	0	2,863	2,863	0
流動負債	1,728,344	807,623	920,721	1,960,533	918,472	1,042,061
一時借入金	620,000	150,000	470,000	650,000	250,000	400,000
企業債	542,835	334,511	208,324	541,734	296,076	245,658
リース債務	1,808	1,808	0	2,485	2,485	0
未払金	299,989	170,159	129,830	511,811	222,653	289,158
引当金	244,521	137,486	107,035	236,055	132,421	103,634
その他流動負債	19,191	13,659	5,532	18,448	14,837	3,611
繰延収益	1,201,611	614,306	587,305	1,101,269	613,580	487,689
長期前受金	5,246,832	2,610,815	2,636,017	4,854,030	2,426,754	2,427,276
長期前受金収益化累計額	△ 4,045,221	△ 1,996,509	△ 2,048,712	△ 3,752,761	△ 1,813,174	△ 1,939,587
負 債 合 計 (ア)	8,812,171	6,608,561	2,203,610	9,226,361	6,867,203	2,359,158

別表 37

病 院 事 業 資 本 金

(単位：千円)

年 度 区 分		令 和 5 年 度 決 算 額			令 和 4 年 度 決 算 額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
	固有資本金	28,065	15,532	12,533	28,065	15,532	12,533
	出 資 金	1,023,861	471,147	552,714	1,023,861	471,147	552,714
	組入資本金	397,421	397,421	0	397,421	397,421	0
	資 本 金 合 計 (イ)	1,449,347	884,100	565,247	1,449,347	884,100	565,247

別表 38

病 院 事 業 剰 余 金

(単位：千円)

年 度 区 分		令 和 5 年 度 決 算 額			令 和 4 年 度 決 算 額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
	資本剰余金	2,432,519	1,132,727	1,299,792	2,409,146	1,126,478	1,282,668
	受贈財産評価額	51,061	8,440	42,621	51,061	8,440	42,621
	寄 附 金	8,075	6,075	2,000	8,075	6,075	2,000
	他会計負担金	1,816,541	681,646	1,134,895	1,816,541	681,646	1,134,895
	補 助 金	393,359	383,150	10,209	393,359	383,151	10,208
	その他資本剰余金	163,483	53,416	110,067	140,110	47,166	92,944
	利益剰余金 (a+b+c-d)	△ 3,923,716	△ 2,283,310	△ 1,640,406	△ 3,692,326	△ 2,011,928	△ 1,680,398
	減債積立金 a	0	0	0	0	0	0
	利益積立金 b	0	0	0	0	0	0
	建設改良積立金 c	0	0	0	0	0	0
	当年度未処理欠損金 d	3,923,716	2,283,310	1,640,406	3,692,326	2,011,928	1,680,398
	(うち当年度純損益)	(△ 231,390)	(△ 271,382)	(39,992)	(△ 311,665)	(△ 163,840)	(△ 147,825)
	剰 余 金 合 計 (ウ)	△ 1,491,197	△ 1,150,583	△ 340,614	△ 1,283,180	△ 885,450	△ 397,730

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	△ 41,850	△ 266,483	224,633	166,167	△ 1,350	167,517
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	8,770,321	6,342,078	2,428,243	9,392,528	6,865,853	2,526,675